

裸のランチ (1991)

NAKED LUNCH

メディア 映画

ジャンル SF ドラマ

製作国 イギリス/カナダ

色彩 Color

時間 117分

初公開日 1992/07/04

公開情報 松竹富士

映倫 PG12

【キャッチコピー】

溺れるおそれあり。

【解説】

クローネンバーグのことだから、この麻薬小説の夢魔を、かなり納得のいく形でビジュアル化できた部分も無くはない。しかし、映画としては余りにとりとめなく、映像の幻覚剤と呼ぶには衝撃の少ないグロテスクなSF Xの羅列に終わった感がある。小説家志望の主人公（P・ウェラー）は、しがないセールスマン。寸暇を惜しんでタイプライターに向かっているが、その分、本業がおろそかになっている。妻（J・デイヴィス）は麻薬に手をだし、廃人の一歩手前。そんな中、かつては中毒者だった彼自身、自分の売る怪しげな殺虫剤を試して、恐ろしい幻覚と溢れる想像力を交互に得るようになる……。

「ニュー・エイジ」でも共演した主演二人がいずれも熱演で、特にデイヴィスの不気味な怪演は忘れ難い。

【クレジット】

監督	デヴィッド・クローネンバーグ	David Cronenberg	
製作	ジェレミー・トーマス	Jeremy Thomas	
原作	ウィリアム・バロウズ	William Burroughs	
脚本	デヴィッド・クローネンバーグ	David Cronenberg	
撮影	ピーター・サシツキー	Peter Suschitzky	
音楽	ハワード・ショア	Howard Shore	
出演	ピーター・ウェラー	Peter Weller	ウィリアム・リー
	ジュディ・デイヴィス	Judy Davis	ジョーン・リー/ジョーン・フロスト
	イアン・ホルム	Ian Holm	トム・フロスト
	ジュリアン・サンズ	Julian Sands	イヴ・クローケ
	ロイ・シャイダー	Roy Scheider	ベンウェイ医師
	モニック・メルキューレ	Monique Mercure	
	ニコラス・キャンベル	Nicholas Campbell	
	マイケル・ゼルニカー	Michael Zelniker	
	ジョセフ・スコーシアニー		